

# トヨタ アクア 専用 HiD システム 取付・取扱説明書

アサヒライズ株式会社 エフイーティー事業部  
 〒379-2131 群馬県前橋市西善町2004  
 CATZ HOT LINE TEL.027-266-7435

ハロゲンバルブ装着車のみ対応

## ⚠️ ご注意

- この度は、TOYOTAプリウス専用HIDシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。  
 この製品は、お車のヘッドライトをハロゲンバルブから、HIDバルブに交換する為の製品です。  
 正しく安全にご使用いただく為に、この取り付け、取扱い説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上でご使用ください。
- 本製品を車両へ装着の際は、ヘッドライトの脱着が必要です。
- 本製品は、TOYOTAアクア(NHP10)専用です。当該車両以外では使用しないでください。  
 当該車両以外でご使用された場合、球切れモニター点灯など車両のシステムに誤作動などの症状が発生する場合があります。
- 本製品の使用、取り付けの際には、本取付・取扱説明書、及び車両メーカー作成の整備マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
- HIDシステムは陸運支局に確認の上、車検対応として製造されておりますが、通常のハロゲンバルブとは異なる発光色に見える為、稀に検査によっては不適合と判断される場合があります。
- 本製品は、通常のHIDシステムやハロゲンバルブより明るさが増加する為、光軸が合っていないか、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがありますので、必ず光軸を正しく合わせてご使用ください。
- HIDシステムに交換する事によって、灯具(車両)によってはハロゲンバルブでは出なかった光が出る事もあります。
- 本製品の取付、交換は専門の技術と経験が必要です。安全の為、必ず整備工場や自動車電装品取扱いの専門店にて行ってください。

## ⚠️ 使用上のご注意

- 車両のパワースイッチがオフまたはACCの状態ではヘッドライトを点灯させないでください。  
 バッテリー上がりやHIDシステムの不具合の原因となります。
- 車両、補機バッテリーの充電状態によりオートライトを併用しエンジン始動(レディー)した際、HIDが正常に点灯しない場合があります。  
 点灯しない場合でも、ヘッドライトを一度、OFFにしてからONにすると正常に点灯します。予め、ご了承ください。

## 製品仕様

### 【H.I.D バルブ】

- タイプ : H11
- 消費電力 : 35w

### 【インバータ】

- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力電圧 : 85v

### 【イグナイタ】

- 無負荷二次電圧 : 20~30kv

## 構成部品

※ご使用前に部品が全て揃っているか、ご確認ください。

1		2		3		4		5		6	
HIDバルブ	2	イグナイタ	2	インバータ	2	リレーハーネスR	1	リレーハーネスL	1	H11コントロールハーネス	2
7		8		9		10		11		12	
リレー	2	コルゲートチューブ	2	インシュロック	8	イグナイタステー-A	2	イグナイタステー-B	2	インバータステー	2
13		14		15		16		17		18	
リレーステー	2	六角ボルト(M6×15)	8	六角ボルト(M6×10)	4	M6-20 平ワッシャー	8	M6フランジナット	12	六角タッピングネジ(M5×1.6)	6
19		20		21							
スクリュウグロメット	6	M5平ワッシャー	6	M5スプリングワッシャー	6						

**⚠ 安全に関するご注意** ※ご使用になる前に必ずお読みください。

**⚠ 警告**

- ⊘ **ガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。**  
破損した場合、ガラス破片が飛散しケガの原因となります。
- ⊘ **紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。**  
火災の原因となります。

**⚠ 注意**

- ⚠ **このHIDシステムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。**  
イグナイタ、インバータは、始動時に高電圧を発生する為、ノイズが発生する場合があります。イグナイタ、インバータの取付位置や車両によっては、車両(コンピュータ、オーディオ等)に影響する場合があります。
- ⚠ **ライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり洗車などは、おこなわないでください。**  
点灯中や消灯直後はライトのレンズやボディーが熱いのでヤケドの原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後の洗車は温度差によるレンズ割れの原因となることがあります。  
※洗車やライト付近の作業をおこなう場合は、十分にさました後、作業をおこなってください。
- ⚠ **点灯中の光(電球)を間近で長時間見つめないでください。**  
目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- ⚠ **感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。**  
HIDバルブをイグナイタへ接続しない状態で、ライトスイッチをオンにするとイグナイタ側のHIDバルブ接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。また、この状態でライトスイッチをオフにしても高電圧が残留(遮断後約300msec以内)し、感電する恐れがあります。
- ⚠ **ライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。**  
このシステムは、通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていないかたり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

**⚠ 取付作業に関するご注意** ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- ⊘ **停車中(信号待ちなど)の点灯/消灯は頻繁におこなわないでください。**  
点灯/消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が消耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起こす原因となります。  
注)ライトスイッチの点灯/消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。  
これは、インバータの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。この症状が出た場合、数秒の間隔(10秒以上)を置いてから再点灯をおこなってください。
- ⊘ **下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。**  
この症状はインバータの昇圧差や固体差によって発生する症状で、クレームの対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。  
1) 点灯直後や再点灯時に(約10~20秒間)赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。  
2) 左右のライトが同時に点灯しないことがあります。  
3) 点灯時、左右の照射色が異なる場合があります。これは商品の固体差により発生するものでクレーム対象とはなりませんので、ご理解の上ご使用ください。
- ⊘ **改造、分解は絶対におこなわないでください。**  
この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムの作動中は高電圧を発生しますので、インバータ・イグナイタ・HIDバルブなどの改造や分解は絶対におこなわないでください。また、改造や分解、不当な修理に起因し生じた故障および損傷については、製品保証の対象外となりますので、ご了承ください。

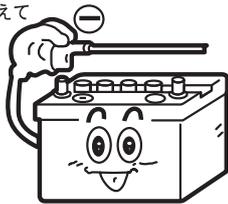
**使用中におかしいな?と思ったら!!**

- 1) 速やかに車両を安全な場所へ移動し、停止させてください。
  - 2) ライトスイッチを消灯状態にして、数秒後再点灯をおこなってください。
  - 3) 上記作業を何度かおこなっても症状が改善されない場合は、再度10分から20分程度電源を切り(ハザードは除く)、その後再点灯をおこなってください。
- ※上記作業をおこなって正常にもどれば、インバータの安全回路が作動に起因し発生した症状なので、そのままご使用頂いて問題はありません。  
もし症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄の駐車設備のある場所へ車両を移動し、速やかに購入・取付けをおこなった販売店へご相談ください。

**⚠ 使用に関するご注意** ※ご使用になる前に必ずお読みください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。《車種によりバッテリーケーブルを取外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両の取扱マニュアルをご参照ください。》



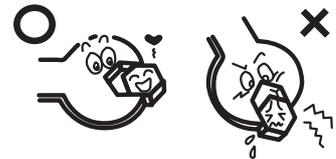
●ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付後の修復チェックを確実に進行。



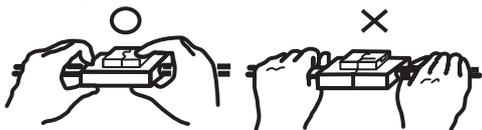
●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用し確実に進行。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。



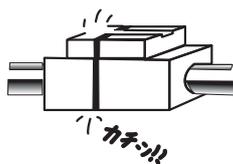
●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。



●コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



●ハーネス(配線)配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

※イグナイタ、バルブ間の配線を絶対に結束しないでください。



●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスを引っかけたりかみ込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。



●車両のワイヤリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



●ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。



## ⚠ 取扱（取付）に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

装着作業をおこなう際は下記項目を必ずお守りください。

- ※下記の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関しては、クレームとしてお受けできません。
- ◎取付作業を開始する前に、必ずシステムの作動確認をおこなってください。
  - ※バルブパッケージは未開封の状態でイグナイタ、インバータを仮接続し、HIDバルブの点灯テスト要領をご参照の上点灯確認をおこなってください。
  - ※バルブパッケージは開封後は、クレームとしてお受けできません。（但し、製品上のトラブルは除く）
  - ※点灯テスト手順は、別項の点検要領をご参照ください。
- ◎HIDバルブの装着作業をおこなう際は、必ず車両からライトを外しておこなってください。
  - ※HIDバルブはとてもデリケートです。装着作業をおこなう際は必ず車両からライトを取り外した状態で作業をおこなってください。
- ◎イグナイタ、インバータの取扱は慎重におこなってください。
  - ※イグナイタ、インバータは精密な電子回路の集合体です。落としたり、配線を引張ったりしないでください。
  - また、システム作動中は高電圧が発生しておりますので装着や点検作業をおこなう場合、必ずライトスイッチがオフになっていることやバッテリーの端子が取外されていることを確認の上、作業をおこなってください。
  - インバータ、イグナイタの取付けに際しては、水や熱がかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。
- ◎減光システム装置付き車両への装着または併用はできません。
  - ※一般的な減光システムは、出力電圧を自動で調整（上げ下げ）することでライトの光量調整（減光）をおこなう装置です。
  - HIDシステムと併用した場合、減光システムが作動した際、HIDの作動に必要な最低起動電圧（9ボルト）を下回り、電圧不足が発生し不点灯やシステムの破損の原因となります。
- ◎オートライトをご使用エンジン始動（レディー）にするとまれに、不点灯が起こる場合があります。
  - ※車両側の補機（バッテリーの充電状態により、オートライト（コンライト）の設定でエンジン始動（レディー）を行なうと、まれに、電力不足の為、不点灯が起こる場合があります。その際は、一度、ヘッドライトスイッチをOFFにしてからONにすると同様に点灯します。予め、ご了承ください。

ハズシテネ!



## HIDバルブの点灯テスト要領

☆HIDバルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆

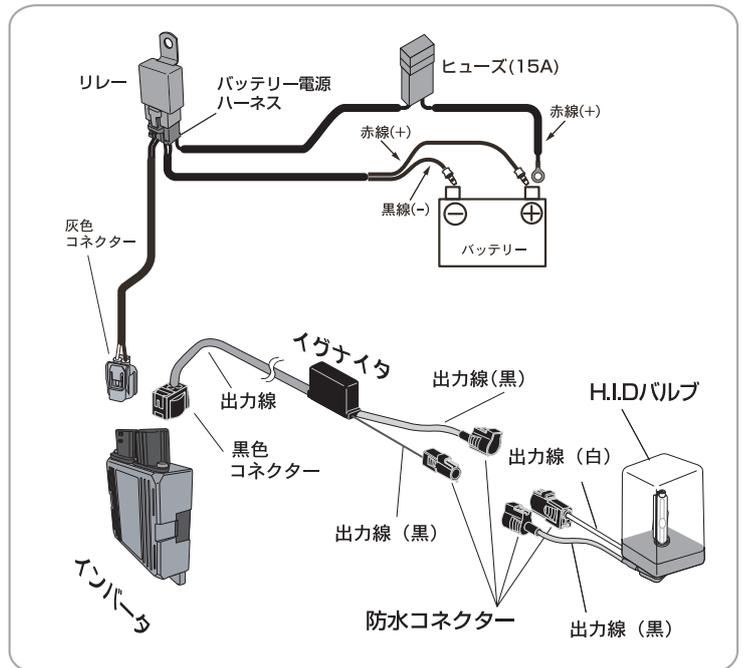
当商品は出荷前に振動/点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で取付け作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認作業をおこなってください。

### 《点灯テスト手順》

- ①H.I.Dバルブを開封する前に、右記接続図に従ってバルブハーネス・イグナイタ・インバータ・バッテリー電源ハーネスの配線をそれぞれ接続し、リレーをバッテリー電源ハーネスに取り付けてください。
- ②接続終了後、バッテリー電源ハーネスの入力ハーネスに接続される赤線とバッテリー電源ハーネスの丸端子をバッテリーのプラス側に接続してください。また、バッテリー電源ハーネスの入力ハーネスに接続される黒線をマイナス側のバッテリー端子に接続してください。
- ③H.I.Dバルブが点灯します。
- ④左右のシステムとも点灯が確認できれば、テストは終了となります。

### 《ご注意》

- ◎電源接続の際、プラス（+）マイナス（-）を絶対に間違わないでください。インバータの故障の原因になります。
- ◎点灯テスト時間は、10秒以内で行ってください。
- ◎装着前の点灯テストを怠り、ケースの封印を開封した場合、及び装着作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますのでご了承ください。
- ◎破損や作動不良の原因となりますので、インバータにバッテリーのプラス電位が触れないようご注意ください。



## トラブルシューティング

◎全く点灯しない

- |                        |      |                            |
|------------------------|------|----------------------------|
| ヘッドランプスイッチはONになっていますか？ | NO → | ヘッドランプスイッチをONにしてください。      |
| 各コネクタは確実に接続されていますか？    | NO → | コネクタを確実に接続してください。          |
| ハーネスの接続間違えはありませんか？     | NO → | P4取付概要、配線構成図を参照し、確認してください。 |
| ヒューズは切れていませんか？         | NO → | 新品の15A ヒューズと交換してください。      |

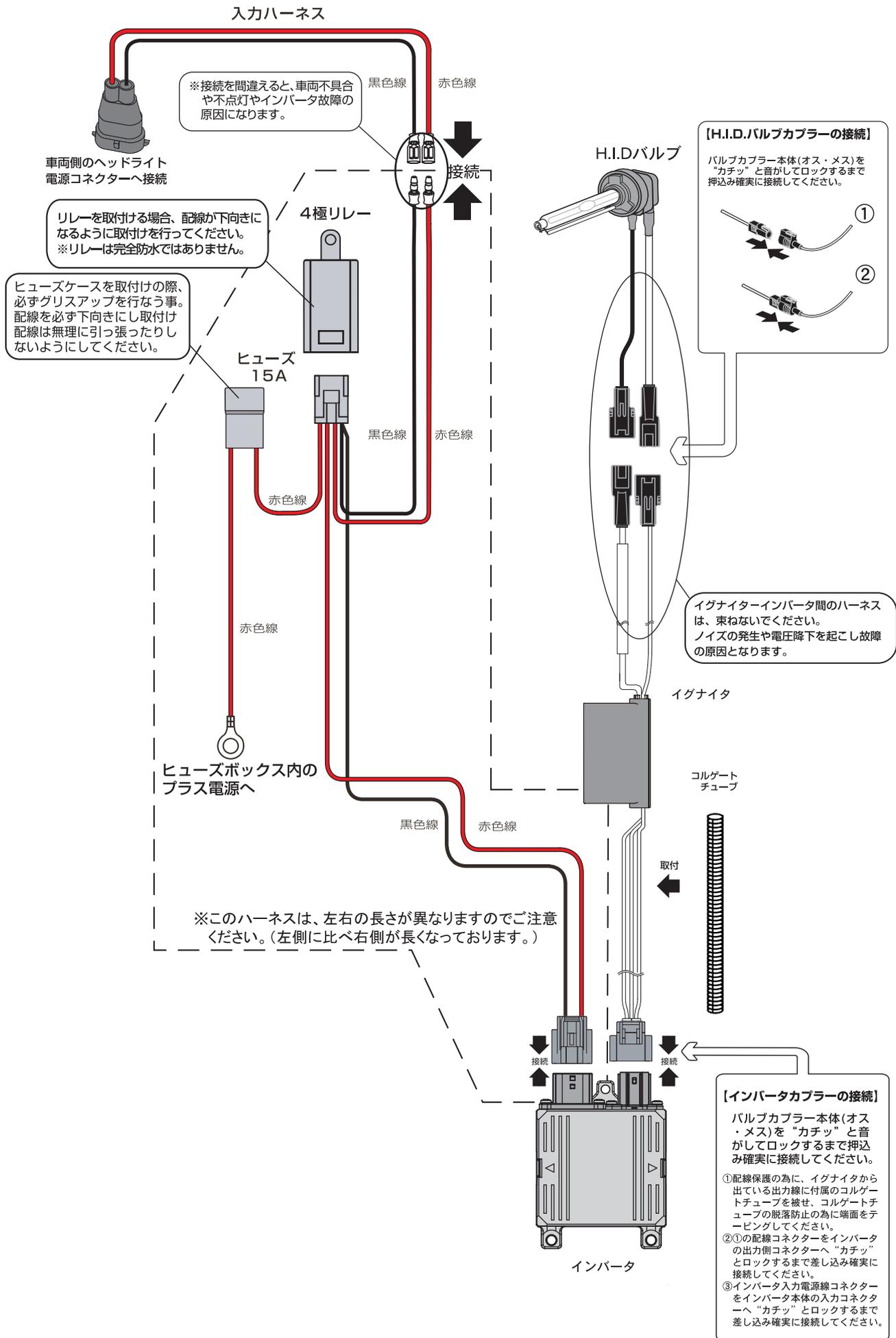
HIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

◎片側が点灯しない

- |  |      |                                     |
|--|------|-------------------------------------|
| 各コネクタは確実に接続されていますか？                    | NO → | コネクタを確実に接続してください。                   |
| 点灯するライト側のインバータ・イグナイタを点灯しない側へ付け替えてください。 | NO → | バルブにトラブルが発生しています。（販売店にて点検を受けてください。） |

片側のHIDシステムに異常が発生していますので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

⚠ 取付(システム)概要・接続構成図



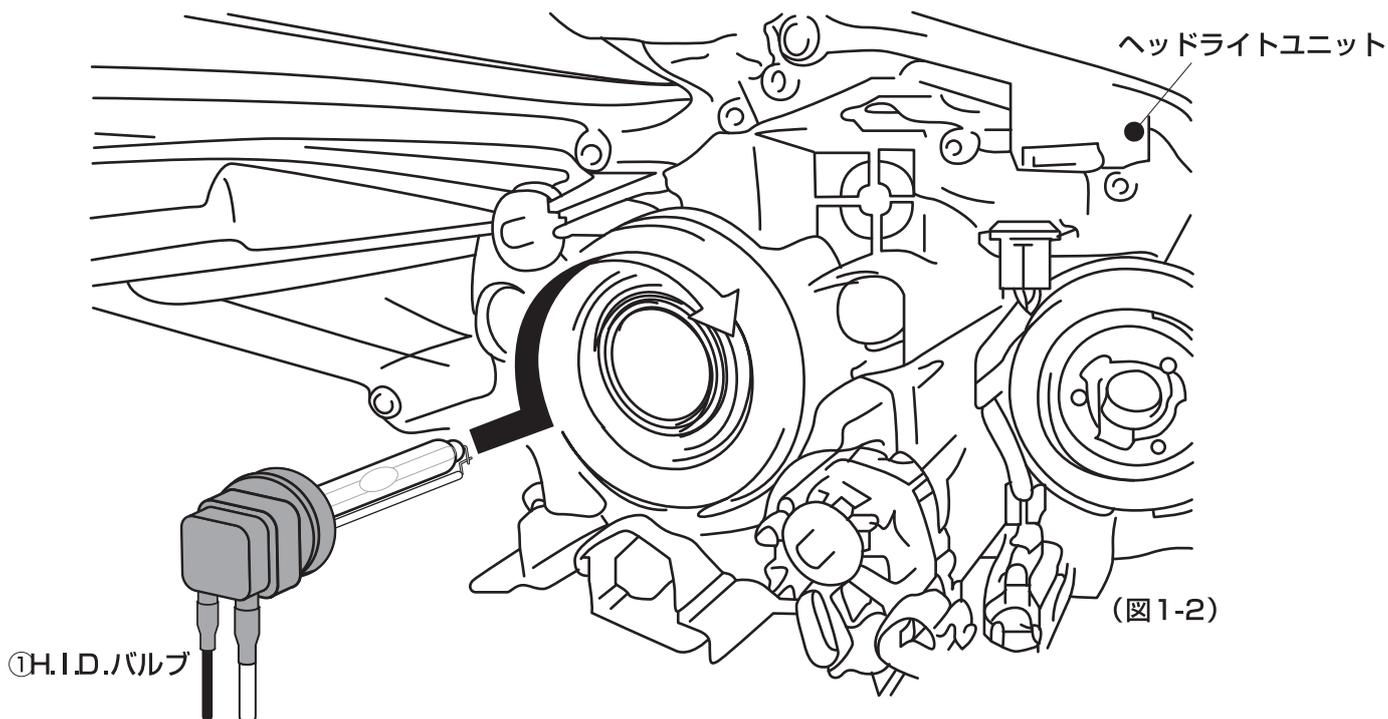
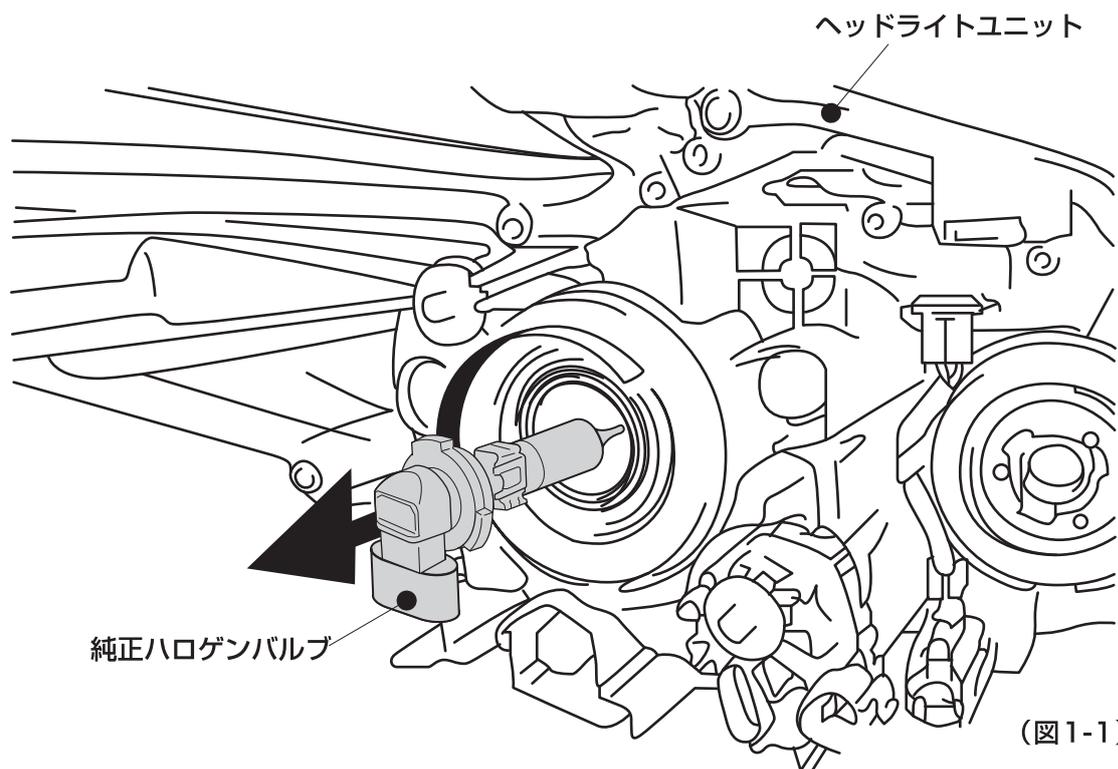
## 取付手順 1 H I Dバルブの取り付け

ヘッドライトから純正ハロゲンバルブを外し、H.I.D.バルブをハロゲンバルブ脱着の手順で取付けてください。

1. ヘッドライトユニットより、純正ハロゲンバルブを取外して下さい。(図1-1)
2. 付属の①H.I.D.バルブをハロゲンバルブ脱着と逆の手順で取り付けてください。(図1-2)

### アドバイス

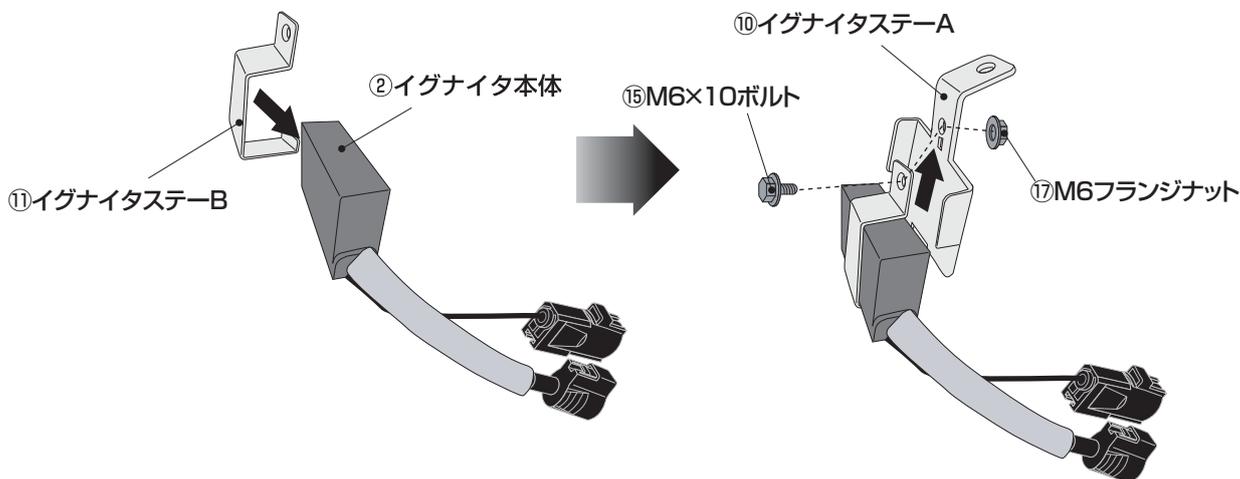
右側のハロゲンバルブ脱着の際、ヘッドライトユニット後方のラジエターリザーバータンクを固定しているボルト(2本)を外し、タンクをずらすと作業がしやすくなります。また、バンパーを脱着し、作業を行なうと、安全に作業がしやすくなります。





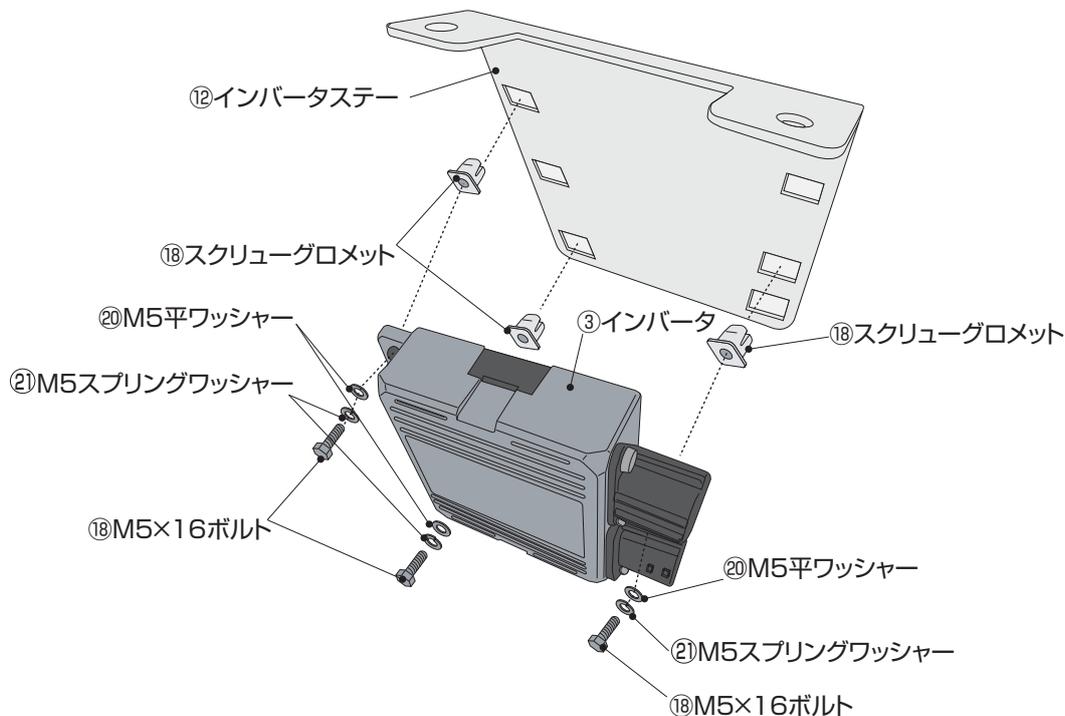
### 3-1 助手席側イグナイタの取り付け

- ①イグナイタステーBを②イグナイタ本体へ取付け、⑩イグナイタステーAと組付けた後、付属の⑮M6×10ボルト、⑰M6フランジナットを使用し、固定してください。  
※運転席側イグナイタの固定方向は、対象になります。



### 3-2 助手席側インバータの取り付け

- ⑫インバータステー に付属の⑮スクリューグロメットを取付た後、⑰M5×16ボルト、⑳M5スプリングワッシャー、⑲M5ワッシャーを使用し③インバータ本体を固めて下さい。  
※運転席側インバータの固定方向は、対象になります。



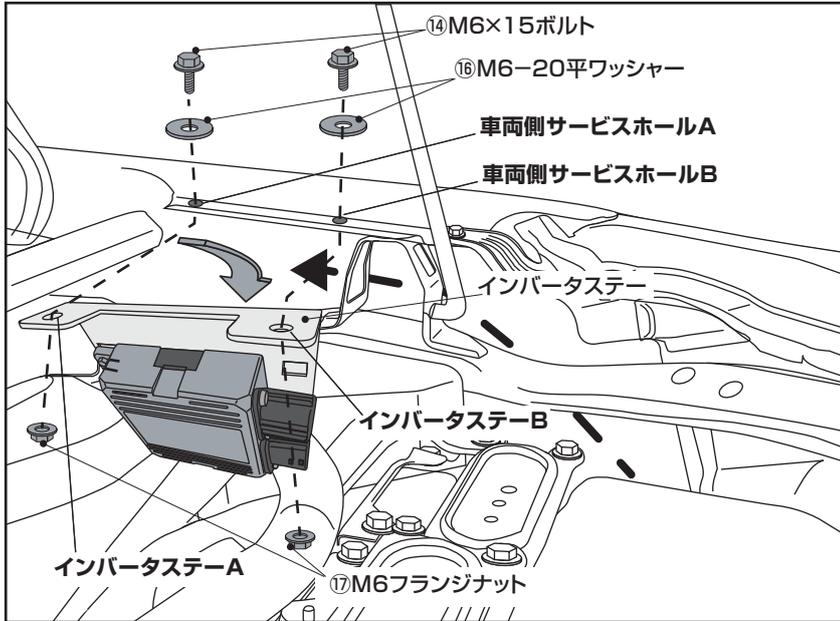
## 取付手順 3 助手席側インバータ、イグナイタの取付

### 取付位置

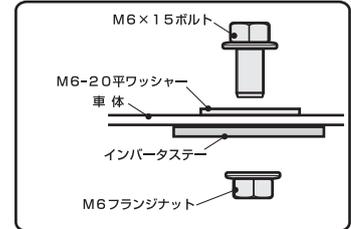


### 3-3 助手席側インバータの取り付け

1. インバータステーを装着する時、インバータへ接続するハーネスをヘッドライト裏からフェンダー側へ(矢印点線)通し、インバータへ接続してください。
2. 車両側サービスホールAと車両側サービスホールBへ、インバータステーのA、Bの穴位置を合わせます。
2. 本製品付属の⑭M6×15ボルト、⑯M6-20平ワッシャーを上側からセットし、⑰M6フランジナットを使い、車両へ固定します。



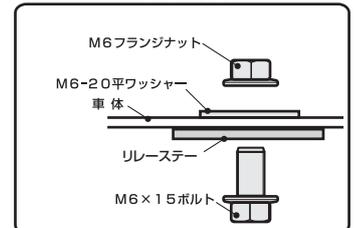
#### インバータステー取付け詳細



### 3-4 助手席側イグナイタ、リレーの取付け

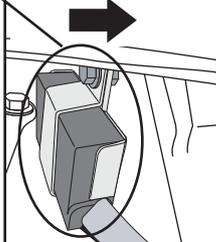
1. 車両側サービスホールCへ、イグナイトステーの穴の位置を合わせます。
2. 車両側サービスホールCの下側から、本製品付属品の⑭M6×15ボルトをセットし上側から⑯M6-20平ワッシャーをセットし、⑰M6フランジナットで車両へ固定します。
3. ⑬リレーステーへリレーを、本製品付属の⑮M6×10ボルト、⑰M6フランジナットでステーへ固定します。
4. 車両側サービスホールDへ、リレーステーの穴位置を合わせます。
5. 車両側サービスホールDの下側から、本製品付属の⑭M6×15ボルトをセットし、上側から⑯M6-20平ワッシャーをセットし、⑰M6フランジナットで車両へステーを固定します。

#### リレーステー取付け詳細

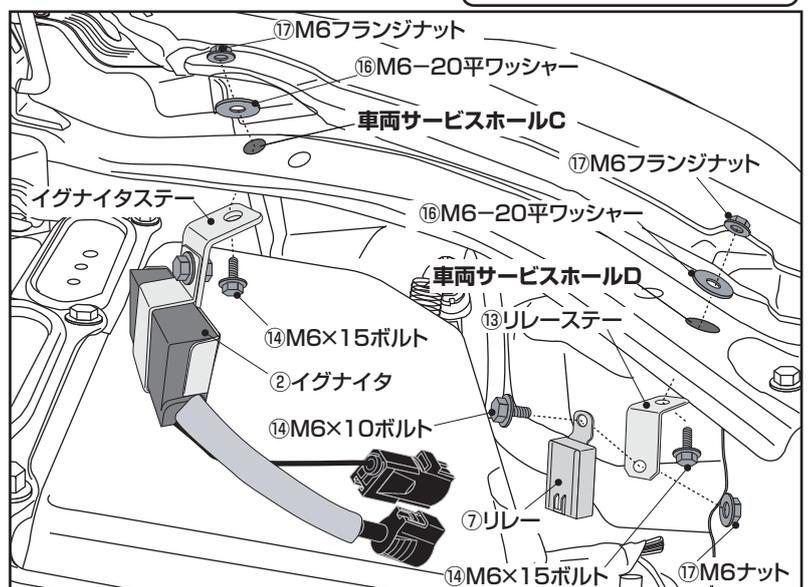
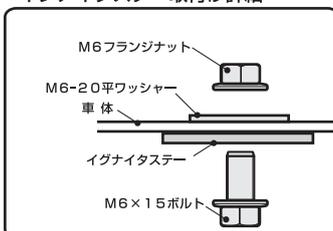


イグナイトステーを固定する際、図を参照し、ヘッドライト後方と平行になる様にステーの位置を合わせ固定すると光軸調整の際、邪魔になりません。

ヘッドライト側

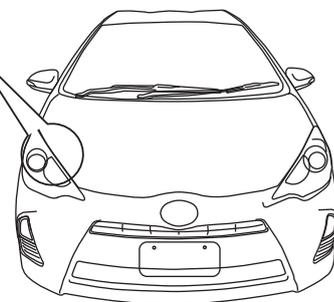


#### イグナイトステー取付け詳細



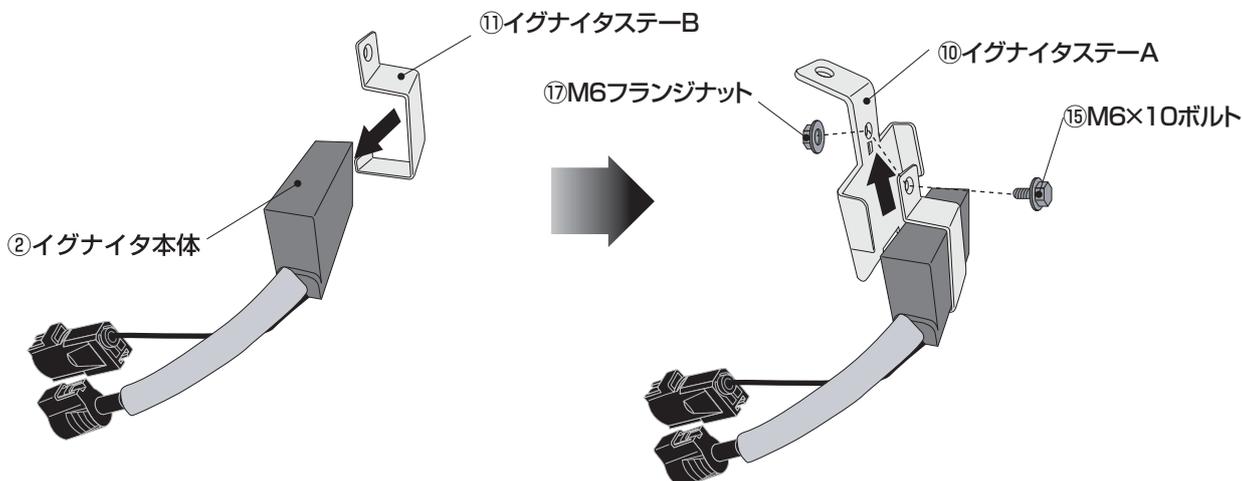
取付位置

運転席側インバータ  
イグナイタ、リレー  
取付け位置



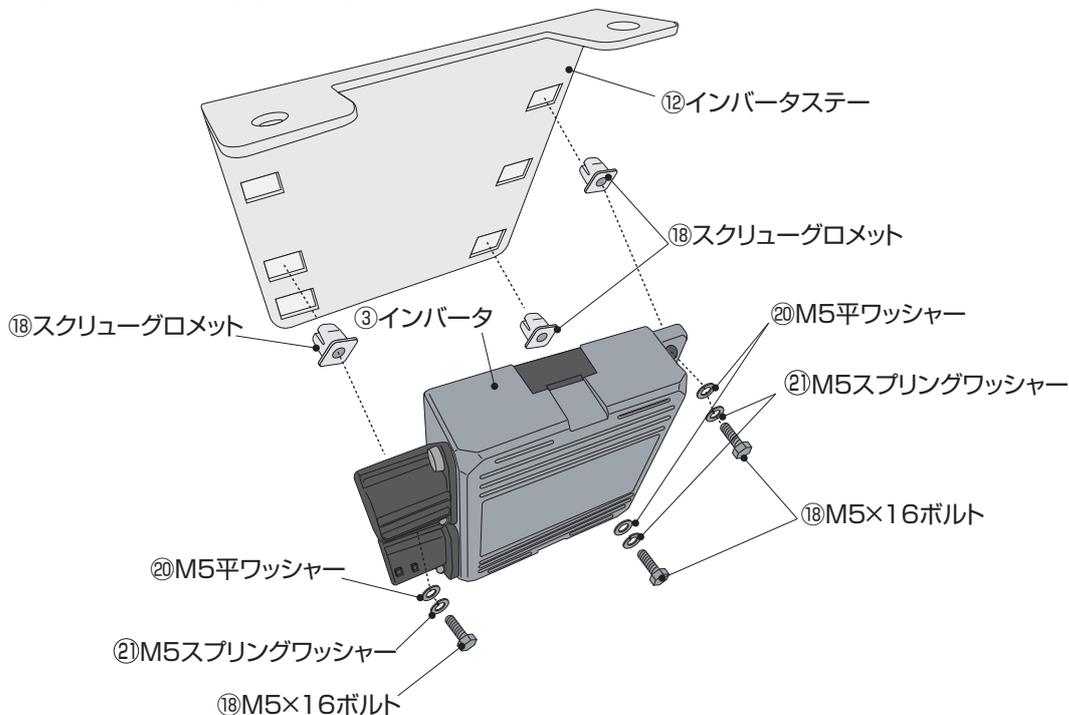
4-1 運転席側イグナイタの取り付け

- ①イグナイタステーBを②イグナイタ本体へ取付け、⑩イグナイタステーAと組付けた後、付属の⑮M6×10ボルト、⑰M6フランジナットを使用し、固定してください。  
※助手席側イグナイタの固定方向は、対象になります。



4-2 運転席側インバータの取り付け

- ⑫インバータステー に付属の⑮スクリューグロメットを取付た後、⑰M5×16ボルト、⑳M5スプリングワッシャー、⑲M5ワッシャーを使用し③インバータ本体を固めて下さい。  
※助手席側インバータの固定方向は、対象になります。



## 取付手順 4 運転席側インバータ、イグナイタの取付

### 4-3 運転席側インバータの取り付け

#### イグナイタの取り付け

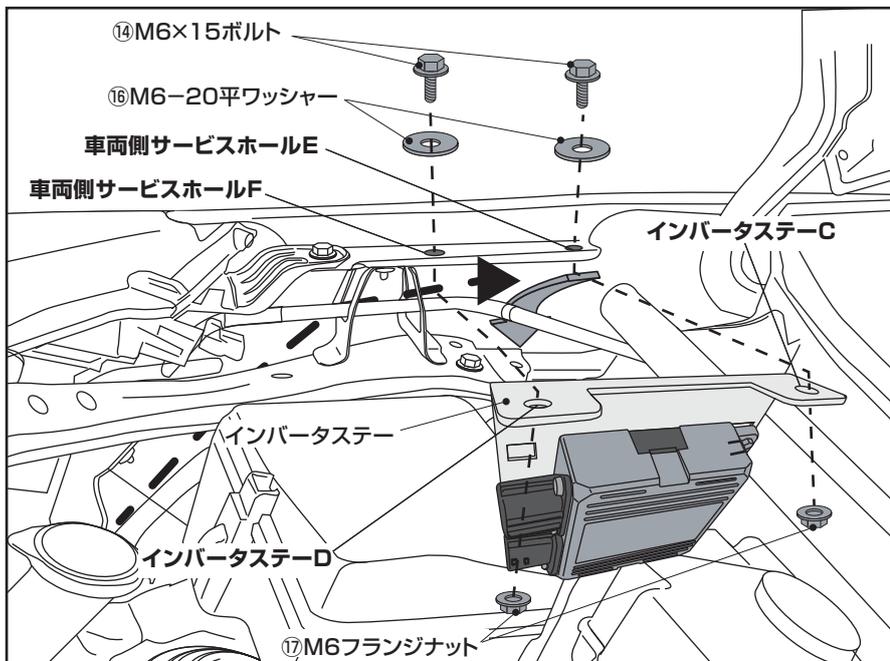
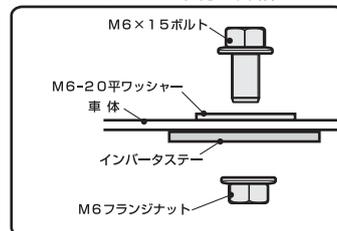
1. インバータステーを装着する時、インバータへ接続するハーネスをヘッドライト裏からフェンダー側へ(矢印点線)通し、インバータへ接続してください。
2. 車両側サービスホールEと車両側サービスホールFへ、インバータステーのC、Dの穴位置を合わせます。
2. 本製品付属の⑭M6×15ボルト、⑯M6-20平ワッシャーを上側からセットし、⑰M6フランジナットを使い、車両へ固定します。

#### 取付位置

運転席側インバータ  
イグナイタ、リレー  
取付け位置



#### インバータステー取付け詳細

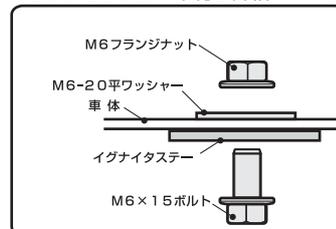


### 4-4 運転席側インバータの取り

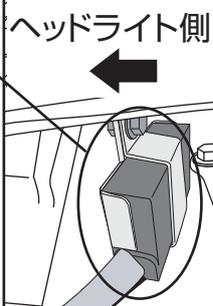
#### インバータの取り付け

1. 車両側サービスホールGへ、イグナイタステーの穴の位置を合わせます。
2. 車両側サービスホールGの下側から、本製品付属品の⑭M6×15ボルトをセットし上側から⑯M6-20平ワッシャーをセットし、⑰M6フランジナットで車両へ固定します。
3. ⑬リレーステーへリレーを、本製品付属の⑮M6×10ボルト、⑰M6フランジナットでステーへ固定します。
4. 車両側サービスホールHへ、リレーステーの穴位置を合わせます。
5. 車両側サービスホールHの下側から、本製品付属の⑭M6×15ボルトをセットし、上側から⑯M6-20平ワッシャーをセットし、⑰M6フランジナットで車両へステーを固定します。

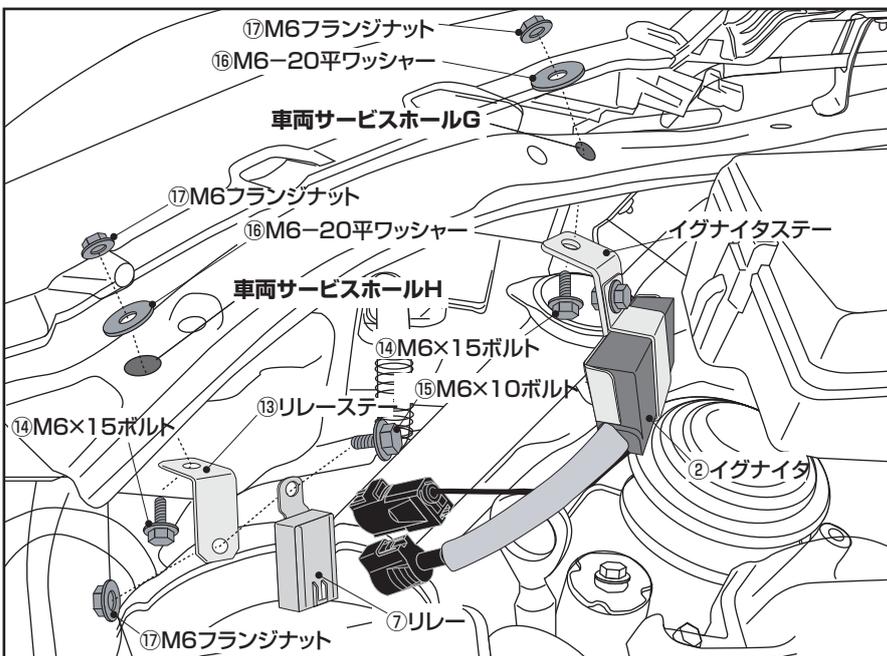
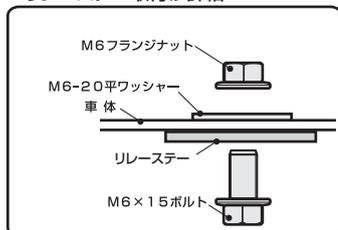
#### イグナイタステー取付け詳細



イグナイタステーを固定する際、右図を参照し、ヘッドライト後方と平行になる様にステーの位置を合わせ固定すると光軸調整の際、邪魔になりません。

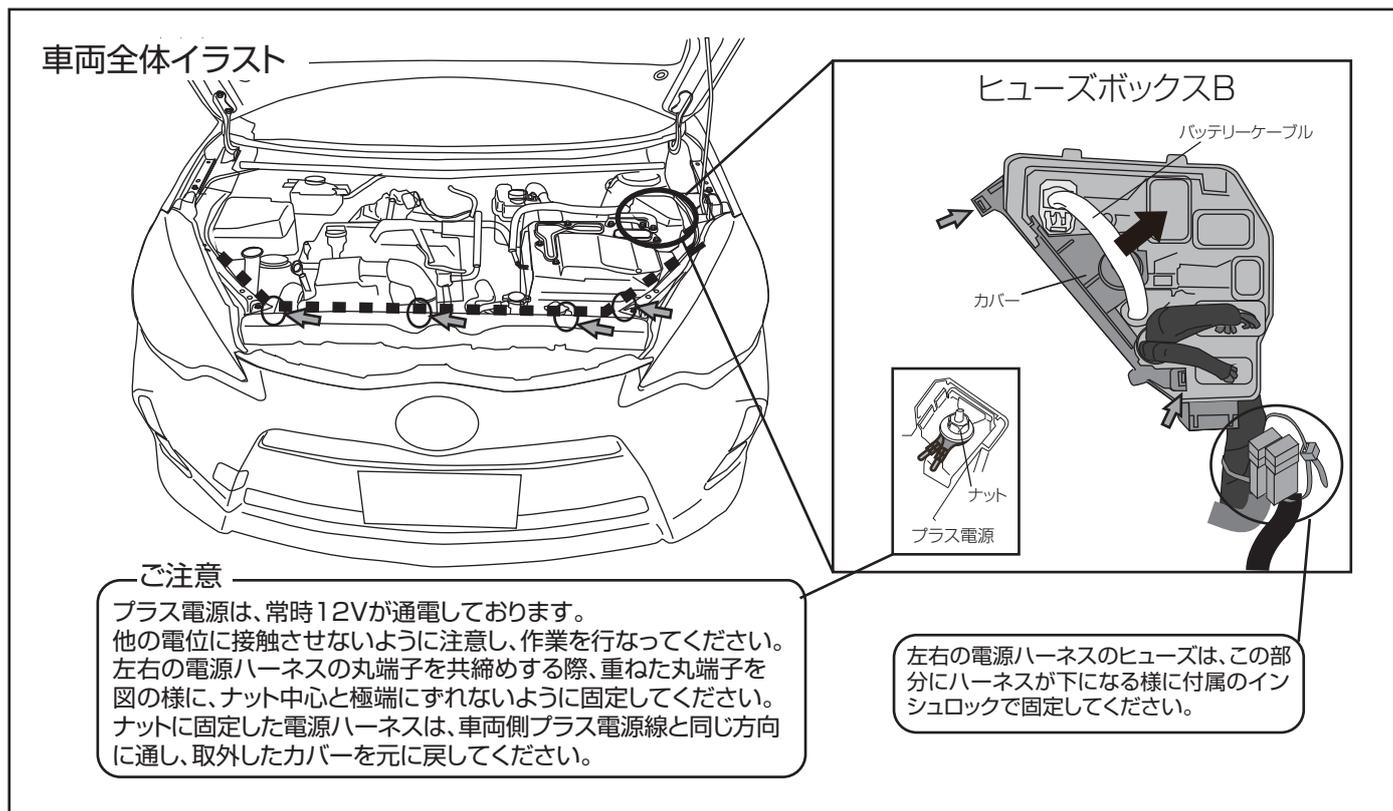


#### リレーステー取付け詳細



## 取付手順 5 配線方法

1. リレーハーネスRを下記、車両全体イラストを参考に、ハーネスを取回してください。(下図、車両全体イラスト点線)
2. ヒューズボックスB外のカバーを取外し、エンジンルームヒューズボックスB内のカバーを2カ所のツメ(矢印)を解除しカバーを外してください。(下図、ヒューズボックスB参照)  
カバーを外すとプラス電源があります。カバーを外す際、白線のバッテリーケーブルが干渉するので、黒矢印方向へ少し押し、カバーを外します。このプラス電源のナットを外しバッテリー電源ハーネス赤線(丸端子)を共締めしてください。  
※プラス電源のボルトを緩めるとナビ、オーディオのメモリーが消えてしまう場合があります。
3. リレーハーネスR、Lのヒューズは、ヒューズボックスから出ているハーネスに本製品付属の⑨インシュロックを使い、固定してください。(下図、ヒューズボックスBイラスト参照)
4. リレーハーネスRのハーネスを車ハーネス、サービスホールに本製品付属の⑨インシュロックを使い、固定してください。(下図、車両全体イラスト矢印4カ所)



## 取付手順 6 点灯確認・取付

### 6-1 点灯確認・取付

取り付け作業が終わったら、正常に作動するか点灯確認を行い、必ず光軸調整を行ってください。  
問題がなければ取り外したすべての部品を元の状態に戻してください。

※これで全ての取り付け作業は終了となります。

#### ⚠ 注意

- ・オートライト(コンライト)を使わないで、点灯テストを行なってください。
- ・高電圧配線(インバータ～イグナイタ～HIDバルブ間)とその他配線と絶対に束ねないでください。
- ・高電圧配線(インバータ～イグナイタ～HIDバルブ間)同士を束ねないでフリーな状態にしてください。
- ・ラジエターホース等のパイプ類には配線を固定しないでください。
- ・コネクター類がボディに振れないようにしてください。
- ・車体のエッジ部に配線が干渉しないようにしてください。
- ・確実な配線されていない場合は点灯動作不良の原因となります。